

2022年8月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月11日

上場会社名 旭化学工業株式会社
 コード番号 7928 URL <http://www.asahikagakukogyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉浦 武
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部次長 (氏名) 松尾 陽介

TEL 0566-92-4181

四半期報告書提出予定日 2022年1月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第1四半期の連結業績(2021年9月1日～2021年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第1四半期	2,717	11.8	175	18.4	193	1.8	135	2.4
2021年8月期第1四半期	2,430	12.7	214	731.3	196	377.5	131	786.6

(注) 包括利益 2022年8月期第1四半期 130百万円 (24.3%) 2021年8月期第1四半期 172百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第1四半期	41.84	
2021年8月期第1四半期	40.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期第1四半期	6,743	4,671	69.3	1,447.42
2021年8月期	6,435	4,621	71.8	1,431.91

(参考) 自己資本 2022年8月期第1四半期 4,671百万円 2021年8月期 4,621百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期		10.00		25.00	35.00
2022年8月期					
2022年8月期(予想)		10.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年8月期期末及び年間配当金予想額については未定です。

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,200	6.5	390	2.3	390	9.6	280	18.1	86.75
通期	10,400	0.1	700	13.2	720	6.7	500	9.4	154.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期1Q	3,896,000 株	2021年8月期	3,896,000 株
期末自己株式数	2022年8月期1Q	668,208 株	2021年8月期	668,208 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年8月期1Q	3,227,792 株	2021年8月期1Q	3,227,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による停滞状況から、ワクチン接種が進展したことにより、先進国を中心に経済活動に回復の兆しが見え始めました。しかし、東南アジア等の新型コロナウイルス感染症の再拡大により、半導体、電子部品の入手難につながっております。原油価格等の原材料価格の上昇、中国においては、電力の供給制限が生産活動に影響を及ぼしており、先行きは依然として不透明な状況であります。

このような状況の中、電動工具業界からの製品の受注は、継続して好調に推移したことから増加しました。自動車業界からの受注は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により受注が減少しました。

このような環境のなか、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高27億17百万円（前年同四半期比11.8%増）、営業利益1億75百万円（同18.4%減）、経常利益1億93百万円（同1.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億35百万円（同2.4%増）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①日本

国内は、電動工具部品の製品の受注が増加しましたが、自動車部品の受注が減少し、売上高は9億54百万円（前年同四半期比24.9%減）、営業利益は12百万円（同82.5%減）となりました。

②中国

中国は、電動工具部品の受注増加や為替の影響もあり、売上高は16億16百万円（同34.8%増）、営業利益は1億70百万円（同8.0%増）となりました。

③タイ

タイは、受注増加により、売上高は1億82百万円（同124.5%増）、営業損失は9百万円（前年同四半期は営業損失18百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比べ3億7百万円増加し67億43百万円（前連結会計年度末比4.8%増）となりました。これは主に現金及び預金が33百万円、受取手形及び売掛金が68百万円、棚卸資産が2億4百万円、それぞれ増加し、投資有価証券が27百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ2億57百万円増加し20億71百万円（前連結会計年度末比14.2%増）となりました。これは主に買掛金が2億89百万円、賞与引当金が29百万円増加し、未払法人税等が32百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ50百万円増加し46億71百万円（前連結会計年度末比1.1%増）となりました。これは主に利益剰余金が54百万円、為替換算調整勘定が15百万円それぞれ増加し、その他有価証券評価差額金が20百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,452,800	1,486,714
受取手形及び売掛金	1,118,325	1,187,200
商品及び製品	253,487	394,451
仕掛品	158,067	175,916
原材料及び貯蔵品	206,292	252,024
その他	233,367	244,324
貸倒引当金	△520	△720
流動資産合計	3,421,821	3,739,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	502,118	500,887
機械装置及び運搬具(純額)	460,912	476,419
土地	882,087	876,974
その他(純額)	107,041	96,478
有形固定資産合計	1,952,160	1,950,760
無形固定資産	11,707	10,814
投資その他の資産		
投資有価証券	135,264	107,916
繰延税金資産	15,818	30,330
長期預金	821,520	828,600
その他	80,501	77,847
貸倒引当金	△3,059	△3,059
投資その他の資産合計	1,050,045	1,041,635
固定資産合計	3,013,912	3,003,209
資産合計	6,435,733	6,743,122
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,124,757	1,414,446
未払法人税等	87,695	55,186
賞与引当金	52,711	81,922
役員賞与引当金	13,500	16,125
その他	317,759	300,723
流動負債合計	1,596,423	1,868,403
固定負債		
繰延税金負債	164,342	154,186
役員退職慰労引当金	46,666	42,023
退職給付に係る負債	6,142	6,372
その他	263	151
固定負債合計	217,415	202,734
負債合計	1,813,838	2,071,138

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,787	671,787
資本剰余金	729,938	729,938
利益剰余金	2,830,316	2,884,680
自己株式	△298,957	△298,957
株主資本合計	3,933,085	3,987,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,857	45,698
為替換算調整勘定	622,952	638,835
その他の包括利益累計額合計	688,809	684,534
純資産合計	4,621,894	4,671,984
負債純資産合計	6,435,733	6,743,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)
売上高	2,430,877	2,717,055
売上原価	2,044,670	2,371,936
売上総利益	386,206	345,119
販売費及び一般管理費	171,446	169,794
営業利益	214,760	175,324
営業外収益		
受取利息	4,755	9,135
受取配当金	115	115
補助金収入	1,762	6,852
その他	852	1,907
営業外収益合計	7,485	18,009
営業外費用		
支払利息	69	22
為替差損	25,212	87
その他	232	—
営業外費用合計	25,514	109
経常利益	196,731	193,225
特別利益		
固定資産売却益	174	814
特別利益合計	174	814
特別損失		
固定資産売却損	51	492
固定資産除却損	450	939
減損損失	—	944
特別損失合計	501	2,376
税金等調整前四半期純利益	196,403	191,663
法人税、住民税及び事業税	51,984	72,592
法人税等調整額	12,481	△15,987
法人税等合計	64,465	56,604
四半期純利益	131,938	135,058
親会社株主に帰属する四半期純利益	131,938	135,058

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	131,938	135,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,114	△20,158
為替換算調整勘定	33,693	15,883
その他の包括利益合計	40,807	△4,275
四半期包括利益	172,745	130,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,745	130,783
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年9月1日 至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日 本	中 国	タ イ	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	1,270,894	1,078,575	81,407	2,430,877	—	2,430,877
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	120,722	—	120,722	△120,722	—
計	1,270,894	1,199,298	81,407	2,551,600	△120,722	2,430,877
セグメント利益又は損失(△)	73,823	158,037	△18,870	212,989	1,770	214,760

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年9月1日 至2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	日 本	中 国	タ イ	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
製品売上	890,342	1,431,873	160,489	2,482,704	—	2,482,704
金型売上	63,823	148,271	22,256	234,350	—	234,350
顧客との契約から生じる収益	954,165	1,580,144	182,745	2,717,055	—	2,717,055
その他収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	954,165	1,580,144	182,745	2,717,055	—	2,717,055
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	36,462	—	36,462	△36,462	—
計	954,165	1,616,606	182,745	2,753,518	△36,462	2,717,055
セグメント利益又は損失(△)	12,951	170,729	△9,346	174,334	989	175,324

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「タイ」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は当第1四半期連結累計期間においては944千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。